

グローバル・スタートアップ・キャンパス構想 先行的活動における運営支援法人等の選定について

令和7年9月30日
科学技術・イノベーション推進事務局
プレスリリース

「グローバル・スタートアップ・キャンパス（GSC）構想」について、先行的活動の実施支援に重要な役割を果たす外部機関（運営支援法人）の採択候補者の選定を行いましたので、お知らせいたします。

また、人材育成（フェローシップ）プログラムについては、海外からの人材受け入れに協力いただける受入機関の選定も行いましたので、お知らせいたします。

「グローバル・スタートアップ・キャンパス（GSC）構想」では、国内外の優秀で野心的な研究者、スタートアップ、先見的なベンチャーキャピタル（VC）、アクセラレータ、企業との連携により、我が国全体のイノベーション・エコシステムの変革を促し、世界最高水準のイノベーション・エコシステムのハブを構築することをミッションとしています。

この構想の先行的活動として、①研究者・投資家等の集積に向けた国際研究、②事業化支援、③人材育成（フェローシップ）を実施すべく、各プログラムの実施に協力いただく外部機関の公募について、令和7年7月15日から8月22日までの間に実施し、延べ36件の提案がありました。また、人材育成（フェローシップ）のプログラムについても、海外からの人材受け入れに協力いただける受入機関の公募を同期間に実施し、9機関からの提案がありました。

これらの提案について、先行的活動のプログラム全体の運営等を助言する「ステアリング・コミッティ」の外部有識者による審査を経て、運営支援法人（採択候補者）は5組を、受入機関は5大学を選定しました。

今後、選定した採択候補者及び受入機関との契約手続等を進めるとともに、関係省庁と連携しながら、GSC構想の先行的活動を強力に推進していきます。

1. 運営支援法人（採択候補者）の選定結果

① Cameron Teitelman, Inc. (Db. Nexus Events), Start X

採択プログラム：「事業化支援プログラム」及び「人材育成プログラム」



② Renaissance Philanthropy Japan

採択プログラム：「国際研究プログラム」



③ SRI International

採択プログラム：「国際研究プログラム」及び「事業化支援プログラム」



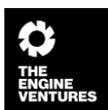
④ Stellar Science Foundation, LINK-J, Chan Zuckerberg Initiative (CZI)

採択プログラム：「国際研究プログラム」及び「人材育成プログラム」



⑤ 東京大学協創プラットフォーム開発株式会社, 博報堂, Activate, Engine Ventures, Prod, Imperial College London, National University of Singapore

採択プログラム：「事業化支援プログラム」及び「人材育成プログラム」



※下線部は代表提案者

2. 人材育成（フェローシップ）プログラム インバウンド受入機

関の選定結果

① 北海道大学

【プロジェクト名】地球課題に成層圏から地中までチャレンジするクライメットテック・AI マイニング国際連携スタートアップ創出プログラム



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

② 東北大学

【プロジェクト名】東北大学 Climate Deep Tech フェローシップ変革プロジェクト



TOHOKU
UNIVERSITY

③ 東京大学

【プロジェクト名】衛星リモートセンシングを活用したアジア発ディープテックの社会実装とイノベーション・エコシステム形成



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

④ 京都大学

【プロジェクト名】Venture Studio Challenge for Kyoto University Startup Ecosystem



⑤ 神戸大学

【プロジェクト名】MedLeap: 神戸発・医療特化型グローバル・スタートアップ拠点構想



神戸大学

<本件問合せ先>

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局
イノベーション担当 津脇、伊藤、西田、秋田

電話 : 03-3581-0161 (直通)

先行的活動の運営支援法人（採択候補者）



① Cameron Teitelman, Inc. (Db. Nexus Events), Start X

事業化支援

人材育成

- ・スタンフォード大学の起業家コミュニティ兼スタートアップアクセラレーターであるStartX及びStartXとNexus Eventsの創設者が率いるCameron Teitelman, Inc. (Db. Nexus Events)による提案。
- ・研究者・PhD等の創業者・創業者候補を対象に、日米間の創業者同士によるpeer-to-peerネットワーク形成等を通じて、研究を基にしたスタートアップのスケールアップ支援を人材育成と合わせて実施。

② Renaissance Philanthropy Japan

国際研究



- ・世界規模での野心的な科学・技術・イノベーションの実現を目的とする非営利団体。
- ・約10億ドル規模のDARPAプログラムの企画運営経験に基づき、ARIA（英国）及びSPRIND（ドイツ）と連携し、先見性のある科学リーダーの育成と科学技術の応用促進に取り組んでいる。

③ SRI International

国際研究

事業化支援



- ・米国に拠点を置く非営利の研究開発機関で、政府や企業との共同研究やスタートアップ創出に豊富な実績を有しており、日本における活動実績もある。
- ・また、DARPA、ARPA-E、ARPA-H など米国政府機関との協働経験を基に、ディープテック研究の事業化に関して顧客への助言・支援も行っている。

④ Stellar Science Foundation, LINK-J, Chan Zuckerberg Initiative (CZI)

国際研究

人材育成



- ・日本で研究支援を行うステラ・サイエンス・ファウンデーションと、日本最大のライフサイエンス領域のコミュニティを持つLINK-J、世界の病気の撲滅をミッションとする米国慈善団体CZIによる連携。
- ・CZIが提携する米国9大学を含むグローバルなネットワークを活用し、バイオ・AI分野でにおけるVD研究モデルの推進とフェローシップ（人材育成）を実施。

⑤ 東京大学協創プラットフォーム開発株式会社, 博報堂, Activate, Engine Ventures, Prod, Imperial College London, National University of Singapore

事業化支援

人材育成



Activate

・HAKUHODO・

PROD



- ・東大IPCを取りまとめとして、MIT連携のThe EngineとPhD起業家支援のActivateが事業化支援。学部・修士対象のProdと社会人フェローを受け入れる複数の米国VCが人材育成。さらにImperial College Londonやシンガポール国立大学とも連携し、事業化を推進。



① 北海道大学【2名】

プロジェクト名：地球課題に成層圏から地中までチャレンジするクライメットテック
・A I マイニング国際連携スタートアップ創出プログラム



② 東北大学【1名】

プロジェクト名：東北大学Climate Deep Techフェローシップ変革プロジェクト



③ 東京大学【2名】

プロジェクト名：衛星リモートセンシングを活用したアジア発ディープテックの社会実装とイノベーション・エコシステム形成



④ 京都大学【1名】

プロジェクト名：Venture Studio Challenge for Kyoto University Startup Ecosystem



⑤ 神戸大学【2名】

プロジェクト名：MedLeap：神戸発・医療特化型グローバル・スタートアップ拠点構想